



平成 25 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 オ ー ク フ ァ ン
代 表 者 名 代 表 取 締 役 武 永 修 一
(コード番号：3674)
取 締 役
問 合 せ 先 経 営 管 理 部 長 濱 田 淳 二
(TEL. 03-6416-3652)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日平成 25 年 4 月 25 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

なお、平成 25 年 9 月期（平成 24 年 10 月 1 日から平成 25 年 9 月 30 日まで）における当社の業績予想は、次のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【単体】

(単位：百万円、%)

項目	決算期	平成 25 年 9 月期 (予想)			平成 24 年 9 月期 (実績)		平成 25 年 9 月期 第 1 四半期累計期間 (実績)	
			構成比	前年比		構成比		構成比
売 上 高		716	100.0	115.6	619	100.0	171	100.0
営 業 利 益		299	41.8	148.5	201	32.5	79	46.1
経 常 利 益		289	40.4	144.0	201	32.4	79	46.3
当 期 純 利 益		193	27.1	192.0	101	16.3	61	35.6
1 株 当 たり 当 期 (四 半 期) 純 利 益		123.73 円			75.67 円		44.71 円	
1 株 当 たり 配 当 金		—			—		—	

- (注) 1. 当社は子会社がありませんので、連結財務諸表は作成していません。
2. 平成 24 年 9 月期（実績）及び平成 25 年 9 月期第 1 四半期累計期間（実績）の 1 株当たり当期（四半期）純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。
3. 当社は、平成 25 年 1 月 15 日付で普通株式 1 株につき 500 株の株式分割を行っております。上記では、平成 24 年 9 月期の期首に行われたと仮定して、1 株当たり当期（四半期）純利益を算定しております。
4. 平成 25 年 9 月期（予想）の 1 株当たり当期純利益は、公募株式数（242,000 株）を含めた期中平均発行済（予定）株式数により算出しております。なお、当該株式数には、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分（最大 48,000 株）は含まれておりません。

以 上

平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年4月25日

上場会社名 株式会社オークファン
コード番号 3674

上場取引所 東
URL <http://aucfan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 武永 修一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 濱田 淳二

(TEL) 03-6416-3652

四半期報告書提出予定日 -

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の業績（平成24年10月1日～平成24年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	171	-	79	-	79	-	61	-
24年9月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年9月期第1四半期	44	71	-	-
24年9月期第1四半期	-	-	-	-

- (注) 1. 平成24年9月期第1四半期につきましては、四半期財務諸表を作成していないため記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
3. 当社は平成24年12月20日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成25年1月15日付で普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っておりますが、当該株式分割が当事業年度の期首に行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第1四半期	615	531	86.0
24年9月期	640	470	73.0

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 529百万円 24年9月期 467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年9月期	-	-	0	00	0	00
25年9月期	-	-	-	-	-	-
25年9月期(予想)	-	-	0	00	0	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の業績予想（平成24年10月1日～平成25年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	716	15.6	299	48.5	299	44.0	193	92.0	123	73

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
2. 平成25年9月期の業績予想の1株当たり当期純利益は、公募株式数(242,000株)を含めた予定期中平均発行株式数により算出しております。なお、オーバーアロットメントによる売り出しにおける発行株式は加味していません。

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年9月期1Q	1,369,000株	24年9月期	1,261,500株
② 期末自己株式数	25年9月期1Q	－株	24年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年9月期1Q	1,369,000株	24年9月期1Q	－株

(注) 当社は、平成24年12月20日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成25年1月15日付で普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っておりますが、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(2) 追加情報.....	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1 四半期累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(5) 重要な後発事象	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要を支えとして徐々に景気回復の兆しを見せつつありましたが、尖閣諸島領有権問題に端を発する対中国輸出の大幅な落ち込みと円高定着による輸出産業の採算悪化もあり、依然として景気先行きが不透明なままとなっております。また、補正予算案の国会審議開始を巡る与野党間のせめぎ合いに端を発し、衆議院解散へと続く総選挙の結果予想から、政権交代による大型景気対策への期待が高まりつつも、様子見の状態が続いている状況にありました。

当社を取り巻くインターネット関連市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の需要が好調に推移していることに後押しされ、インターネット利用人口及び接触時間は継続的に増加しております。平成24年9月末時点のブロードバンドサービスの契約数は4,653.9万回線（前期比11.3%増）と増加が続いており、中でも、3.9世代携帯電話パケット通信サービスの契約数は728.9万回線（前期比101.5%増）、無線ブロードバンドサービスであるWiMAXに代表されるBWA（広帯域移動無線アクセスシステム）の契約数は401.3万回線（前期比31.7%増）と大幅に増加しております（出所：総務省「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表（平成24年度第2四半期（9月末）」））。

このような事業環境のもと、当社は主力のインターネットメディア事業の拡大に向け、その中核を成す「オークファン」において、ユーザー数の拡大、収益基盤の確立・強化に取り組んでまいりました。

ユーザー数の拡大に向けては、サイトリニューアルやユーザー数増加施策に注力しました。

一方、収益基盤の確立・強化に向けては、サービス課金収入の売上増加による収益基盤の多様化及び安定性向上に努めてまいりました。平成23年11月から開始した「オークファンプロ」では、順調に会員数が増加しており、収益基盤の多様化に貢献しております。また、スマートフォンへの対応を進めると共に、世界のマーケットプレイスの一括検索サービス「グローバルオークファン」を開始しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は171,893千円、営業利益は79,311千円、経常利益は79,547千円、四半期純利益は61,212千円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

①資産

流動資産は、前事業年度末に比べて、25,583千円減少し、409,554千円となりました。これは主として、売掛金が4,469千円増加したものの、現金及び預金が28,086千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて、134千円増加し、205,634千円となりました。これは主として、ソフトウェアが14,970千円増加したものの、投資有価証券の減少17,600千円等投資その他の資産の減少17,854千円によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて、25,448千円減少し、615,189千円となりました。

②負債

負債は、前事業年度末に比べて、86,485千円減少し、83,390千円となりました。これは主として未払金の減少50,822千円、未払法人税等の減少28,463千円によるものであります。

③純資産

純資産合計は、前事業年度末に比べて、61,036千円増加し、531,798千円となりました。これは主として、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の額が61,212千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期会計期間における業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益すべてが計画を上回る結果となりました。

第2四半期会計期間以降につきましては、平成24年12月に公表した業績予想に変更はありませんが、今後業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合は、すみやかに開示を行います。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期会計期間
(平成24年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	310,596
売掛金	86,485
貯蔵品	998
その他	13,008
貸倒引当金	△1,534
流動資産合計	409,554
固定資産	
有形固定資産	20,117
無形固定資産	
ソフトウェア	127,364
のれん	476
その他	28,543
無形固定資産合計	156,384
投資その他の資産	29,132
固定資産合計	205,634
資産合計	615,189
負債の部	
流動負債	
買掛金	8,907
未払金	12,975
未払法人税等	40,867
その他	20,639
流動負債合計	83,390
負債合計	83,390
純資産の部	
株主資本	
資本金	176,119
資本剰余金	180,012
利益剰余金	172,883
株主資本合計	529,016
新株予約権	2,782
純資産合計	531,798
負債純資産合計	615,189

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
売上高	171,893
売上原価	19,424
売上総利益	152,469
販売費及び一般管理費	73,158
営業利益	79,311
営業外収益	
為替差益	231
受取利息	4
営業外収益合計	236
経常利益	79,547
特別利益	
投資有価証券売却益	26,400
新株予約権戻入益	71
特別利益合計	26,471
税引前四半期純利益	106,018
法人税、住民税及び事業税	42,687
法人税等調整額	2,118
法人税等合計	44,806
四半期純利益	61,212

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

1. 新株予約権の行使による増資について

当第1四半期会計期間終了後、平成25年1月10日に第5回新株予約権のうち60個について権利行使がありました。当該新株予約権の権利行使の概況は次のとおりであります。

(1) 発行した株式の種類及び数	普通株式	60株
(2) 発行価格		252,469円
(3) 発行総額		15,148千円
(4) 発行総額のうち資本へ組み入れた額		7,574千円

資金の用途は、ソフトウェア開発資金及び事業拡大に伴う運転資金に充当する予定であります。

2. 株式分割

当社は平成24年12月20日開催の取締役会決議に基づき、平成25年1月15日を効力発生日として株式分割を行っております。また、平成25年1月24日開催の臨時株主総会の決議に基づき、定款の一部を変更し単元株制度を採用しております。

(1) 株式分割、単元株制度の採用の目的

当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的として株式分割を実施するとともに、単元株式数(売買単位)を100株に統一することを目標とする全国証券取引所の「売買単位の集約に向けた行動計画」を考慮し、1単元を100株とする単元株制度を採用いたします。

(2) 株式分割の概要

① 分割により増加した株式数

普通株式 1,396,202株

② 分割方法

平成25年1月14日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有株式数を、普通株式1株につき500株の割合をもって分割しております。なお、「1株当たり情報」は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算出しており、これによる影響については、当該箇所に記載しております。

(3) 単元株制度の採用

単元株制度を採用し、普通株式の単元株式数を100株といたしました。

3. 新株予約権の行使による増資について

当第1四半期会計期間終了後、平成25年2月25日に第5回新株予約権のうち245個について権利行使がありました。当該新株予約権の権利行使の概況は次のとおりであります。

(1) 発行した株式の種類及び数	普通株式	122,500株
(2) 発行価格		505円
(3) 発行総額		61,862千円
(4) 発行総額のうち資本へ組み入れた額		30,992千円

資金の用途は、ソフトウェア開発資金及び事業拡大に伴う運転資金に充当する予定であります。